



▲佐織土地改良区がある立田庁舎

佐織土地改良区の汚職事件の原因は

個人のモラルと チエック機能の問題

加藤 敏彦 議員

市長

8月に佐織土地改良区
の太田芳郎理事長が収賄
容疑で逮捕された。
今回の汚職事件は、地
元の古瀬町だけでなく佐
織地区においても、大き
な衝撃である。市長は、
今回の佐織土地改良区の
汚職事件について、どの
ような見解か。事件が起
きた原因はなにか。

市長 まずあってはなら
ないことであり、非常に
残念である。

原因については、個人

の倫理、モラルの問題で
あると思っている。あと
は、組織としてのチエッ
ク機能がしっかりと果た
されていなかったと考え
ている。

危険なブロック塀の 点検と対策を

6月の大阪北部地震
で、小学4年生の児童と
高齢者が倒壊したブロッ
ク塀の下敷きになり亡く
なった。

日本共産党愛西市議団

は5項目の申しれを行っ
た。公共施設や民間のブ
ロック塀の点検と対策は
どうなったか。

総務部長 公共施設の危
険箇所は、小学校で5校、
霊園で2園である。学校
については撤去を完了し
ている。

産業建設部長 民間のブ
ロック塀については、県
と市と合同で調査を実施
した。8月に自己点検表
チラシを全戸回覧した。

地震により倒壊のおそ

れのあるブロック塀の撤
去に対して、補助制度を
10月から施行し、補助額
は、1件当たり10万円を
上限に20件分を予定して
いる。申し込みが多けれ
ば補正予算の対応も考え
ていきたい。

回覧 ブロック塀の安全を確認しましょう

※平成30年6月18日の大阪府北部を震源とする地震によりブロック塀が倒壊し、通行人への被害が発生しました。倒れた壁は道路をふさいで、避難や救助・消火活動などを妨げる可能性があります。ブロック塀は、厳しい自然環境の下で、年数とともに劣化し、ブロックのひび割れや欠け、鉄筋のさび、壁の傾き等が発生します。見た目では安全そうに見えるかもしれませんが、内部に問題がある場合がありますので、維持管理に努めましょう。

ブロック塀の維持管理は、設置者・設置者の責任であり、日頃から点検・診断し、倒壊が認められたときには、転倒防止策や取替・撤去を行い、被害を防ぐようにしましょう。

ブロック塀のチェック項目

*以下の項目をチェックし、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

チェック	項目
<input type="checkbox"/>	壁の高さは加算から2.2m以下(鉄筋が入っている場合)
<input type="checkbox"/>	壁の厚さは1.0cm以上か
<input type="checkbox"/>	(壁の高さが2m超2.2m以下の場合は1.5cm以上)
<input type="checkbox"/>	壁の高さ3.4m以下に、控え壁があるか
<input type="checkbox"/>	(壁の高さが1.2m超の場合)
<input type="checkbox"/>	コンクリートの強度があるか
<input type="checkbox"/>	壁に傾き、ひび割れはないか
<input type="checkbox"/>	壁に鉄筋が入っているか

(注) 経年劣化(レンガ造、石造、鉄筋の無いブロック造)の壁の場合は基準が異なるので、専門家に相談しましょう。

愛西市役所 都市計画課 ☎55-7126

▲都市計画課が発行する啓発チラシ